

第 91 回女川原子力発電所環境保全監視協議会会議録

開催日時：平成 15 年 8 月 22 日午後 1 時 30 分から

開催場所：パレス宮城野 2 階 錦萩の間

出席委員数：22 名

会議内容：

1 開会

司会： ただ今から、第 91 回女川原子力発電所環境保全監視協議会を開催いたします。会議に先立ちまして、本会議には委員数 37 名のところ、22 名の御出席を頂いておりますので、本会は有効に成立していますことを御報告いたします。

最初に、会長の柿崎副知事からあいさつを申し上げます。

2 あいさつ

(会長あいさつ)

3 新委員の紹介

司会： ここで、人事異動により今回新たに委員となりました方々を御紹介いたします。

牡鹿町前網漁業協同組合組合長 渡邊 拓 委員

以上でございます。よろしく申し上げます。

それでは、会長に議長をお願いし、議事に入らせていただきます。

4 議事 議長：柿崎会長

議長： それでは、どうぞよろしく願いいたします。さっそく議事に入らせていただきます。確認事項の「イ」平成 15 年度第 1 四半期の「環境放射能調査結果」について、説明願います。

(1) 確認事項

イ 女川

原子力発電所環境放射能調査結果（平成 15 年度第 1 四半期報告）について

（事務局から平成 15 年度第 1 四半期の環境放射能調査結果について説明）

議長： ありがとうございます。これまでの説明につきまして御質問、御意見がございましたらよろしく願いいたします。

（質疑なし）

議長： なければ次に移ります。ロの平成 15 年度第 1 四半期の「温排水調査結果」について、説明願います。

ロ 女川原子力発電所温排水調査結果（平成 15 年度第 1 四半期報告）について

（事務局から平成 15 年度第 1 四半期の温排水調査結果について説明）

議長： ありがとうございます。それでは、ただ今の説明につきまして御質問なり、御意見がございましたらよろしく願いいたします。

（質疑なし）

議長： なければ次に移ります。ハの平成 14 年度「環境放射能調査結果」について、説明願います。

ハ 女川原子力発電所環境放射能調査結果（平成 14 年度報告）について

（事務局から平成 14 年度の環境放射能調査結果について説明）

議長： ありがとうございます。これまでの説明につきまして御質問、御意見がございましたらよろしく願いいたします。

(質疑なし)

議長： それでは、ないようでございますので、平成15年の4月から6月までの環境放射能と温排水調査及び平成14年度の環境放射能調査結果につきましては、本日の協議会で御了承を頂いたものといたしますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

議長： それでは、これをもって御了承を頂いたものといたします。次に、報告事項に移ります。報告事項の「イ」女川原子力発電所の状況について、説明願います。

(2) 報告事項

イ 女川原子力発電所の状況について

(東北電力から、発電所の状況について説明)

議長： ありがとうございます。何か御質問がございましたらよろしくお願いいたします。

議長： では、議長から一つ伺います。シュラウドは次回定期検査以降、適切に点検を行うとありますが、頻度はどれぐらいでしょうか。

東北電力： 原子力安全・保安院の指導では、ひび割れが存在する状態で使用する場合は、原則として毎回の定期検査時にひび割れ箇所の点検を行うことになっています。ただし、3回の点検の結果、進展が観察されなかったひび割れについては、隔回ごとの定期検査時の点検に移行して差し支えないと指導されております。

また、将来は進展が止まると予測されたひび割れについては、至近の定期検査時の点検に移行して差し支えないと指導されております。

議長： 基本的には定期検査時に確認するということですね。

安田委員： 資料のグラフ1の横軸に実測深さと書いてありますが、これは実際に材料を削って求めたものなのですか。

それと2のグラフの注釈3に「研削により求めたひびの深さについては、測定方法が異なることからグラフには載せていない」となっています。実測によるデータを真値として扱っているように見受けられます。たて軸には各種超音波探傷試験のデータがありますが、誤差範囲の4.4ミリはマイナスなのか、プラスマイナスなのか、プラスマイナスですと誤差は大きいと考えられます。詳しく説明願います。

東北電力： 実測の深さは、材料を小さく切り開いて測定したものです。

安田委員： 研磨による方法とは違うということですね。

東北電力： そのとおりです。誤差についてですが、超音波探傷試験でのデータは、当然プラスマイナスがあります。たとえば、測定データが5ミリ、実測が5ミリですとグラフの実線にのるわけですが、誤差がプラスの場合には、実際のひびより測定した深さの方が大きくなるため、測定した深さが5ミリでも、実測はマイナス4.4ミリの0.6ミリとなり、安全側に評価できますが、誤差がマイナスの場合には、測定した深さが0.6ミリでも実測ではプラス4.4ミリの5ミリとなり、非安全側の評価となるわけですが、そのため、安全側の評価となるマイナス側の誤差範囲について表記しています。

安田委員： この誤差はプラス側には出ないのですか。

東北電力： 安全側と評価できるプラス側は問題ないわけです。

議長： 他になければ、報告事項の「ロ」平成15年度原子力防災訓練の概要について、説明願います。

ロ 平成15年度原子力防災訓練の概要について

(事務局から防災訓練について説明)

議長： ありがとうございます。何か御質問がございましたらよろしくお願いいたします。

(質疑なし)

議長： 御質問がないようですので、報告事項を終了とします。次に、事務局の方から何かありますか。

事務局： 次回の協議会の開催日を、この場で決めさせていただきたいのですが、3か月後の平成15年11月18日火曜日、仙台市で開催することではいかがでしょうか。

議長： それでは、次回の協議会について、11月18日の火曜日、仙台市で開催ということによろしい

でしょうか。

(異議なし)

議長： それでは、次回の協議会は平成 15 年 11 月 18 日の火曜日に仙台市で開催しますので、よろしくお願ひ致します。その他、何か御質問、御意見等はございませんでしょうか。

他になければ、これで本日の議事が終了いたしましたので、議長の職を解かせていただきます。

5 閉会

司会： 以上をもちまして、第 91 回女川原子力発電所環境保全監視協議会を終了いたします。どうもありがとうございました。